

（１）事業の目的

砂浜の保全・回復による自然防御力を主体とした高潮・侵食対策、海岸保全施設の老朽化対策及び津波高潮に対する危機管理を順応的に行うことにより、安全で潤いと憩いのある海岸づくりの推進を目的とする。

（２）指標の達成状況

①：レベル1津波に対する津波対策施設整備率（海岸）

平成29年度末の目標値2.7kmに対し、実績値は1.24kmであった。（達成率45.9%）

整備に関する地元調整及び構造の検討に時間を要し進捗が遅延したが、計画期間完了後も事業は順調に進んでいる。

指標	達成状況			
	H24末	H29末最終目標	H29末最終実績	H29末達成率
レベル1津波に対する津波対策施設（海岸）の整備率	0.0 km	2.7 km	1.24 km	45.9 %

②：背後地の防護に必要な浜幅が確保されている海岸線の延長

平成29年度末の目標値20.6kmに対し、最終実績値は20.6kmであった。（達成率100%）

モニタリングを実施し計画的に養浜を行うことにより、浜幅を維持することができた。

指標	達成状況			
	H24末	H29末最終目標	H29末最終実績	H29末達成率
背後地の防護に必要な浜幅が確保されている海岸線の延長	20.6 km	20.6 km	20.6 km	100.0 %

（３）指標②に関連する実施事例（各海岸の養浜工事）



清水西海岸



竜洋海岸



浜松五島海岸

（４）定量指標以外の効果発現状況

当計画で沼津牛臥海岸に防災ステーションが整備され、沿岸に点在する施設の監視・制御を一元的かつ効率的に行うことが可能となった。

（５）今後の方針と目標達成見込み

引き続き、H30から始まった3か年緊急対策を活用するなど、各事業の進捗を図り、安全で潤いと憩いのある海岸づくりを推進する。R1年度中に指標を達成する見込みである。